

令和2年度第3回国立大学法人鹿屋体育大学学長選考会議議事要旨

日 時 令和3年1月19日(火) 15:00～15:57
場 所 【鹿屋体育大学会場】鹿屋体育大学事務局2階 大会議室
【東京会場】東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター608号室
(web会議を同時開催)
出席者 泉、上治、小館、宮嶋、荻田、前田(明)、濱田(幸)、金高、前阪、高橋、前谷、
原田の各委員
欠席者 岩切、中西の各委員
陪席者 秋元監事、小林監事

議 題

1 前回議事要旨確認

原案のとおり確認された。

2 報告事項

(1) 学長選考応募者について

前田委員(学長選考手続管理委員会委員長)から、資料3に基づき学長選考応募者について公募期間(令和2年10月21日～令和2年12月17日)に受け付けた応募者2名について、及び前回の本会議(令和2年10月16日開催)以降の学長選考手続管理委員会による対応について報告があった。

上記の報告を受け、泉議長から、学長選考応募者のうちこれまで学長選考会議委員であった森委員及び山本委員については、学長選考会議規則の規定により学長選考会議委員の職を解かれること及び委員の補充について、教育研究評議会より選出された高橋教授が本日から学長選考会議に加わることが報告された。

なお、議長から、議長に事故があるときの職務代理者であった森委員が今回委員の職を解かれたため、前谷委員にお願いしたいとの発言があり、了承された。

3 議題

(1) 第1次学長候補者の選考について

事務局から資料4-1～4-4に基づき説明があった後、第1次学長候補者の選考について審議した結果、応募のあった2名が第1次学長候補者として選考された。

(2) 第2次審査(面接審査)の実施方法について

事務局から資料5-1～5-4に基づき説明があった後、泉議長から諮られ、審議の結果資料5-4面接シートについては、委員の意見を取り入れつつ議長と事務局で調整しながら作成することとし、資料5-1～5-3は原案どおり了承された。

また、会議の追加資料として配付された文部科学省から提示されている「第4期中期目標期間における国立大学法人中期目標大綱(仮称)(素案)」については第1次学長候補者に提示したい旨の意見があり、審議の結果了承された。

<意見交換>

○面接の質問項目に大学経営全般に関する項目を明確に設けてほしい。また、これまでの学長選考では候補者1人に対し2～3名の委員で第1次学長候補者とやり取りを行った。できるだけ実のある深掘した議論ができる面接を行いたい。

○「第4期中期目標期間における国立大学法人中期目標大綱（仮称）（素案）」を第1次学長候補者に資料として提示するとともに、面接審査時にもこの素案に対する質問項目を加えてほしい。

○公募要項に健康診断を事前に受診する旨の記載がない。学長の業務は激務であるので、健康であることの確認はどうすればよいか。

○面接審査のときに健康状態を確認することは可能であるとする。

○激務に耐えうるかどうかの質問項目を加えてほしい。

(3) 学内者の意向聴取（投票）の公表について

事務局から資料6に基づき説明があった後泉議長から諮られ、審議の結果従来どおり各候補者の得票数を学内に公表することとした。

<意見交換>

○学長選考会議が学長を選考するので、あくまでも参考である意向投票の得票数は公表する必要はないのではないか。得票数を学長選考会議委員以外に開示するメリットがない。

○今後の大学運営のために事実として得票数まで公表した方がよい。

○投票した人は得票数が気になる。数字は出した方がよい。

○意向投票を行う以上、得票数を公表しないことによる憶測も出てくる可能性もあるので公表した方がよい。

(4) 学長選考会議が行う学長候補者の選考に係る投票方法等の一部改正（案）について

事務局から資料7-1及び7-2に基づき説明があった後泉議長から諮られ、審議の結果原案どおり了承された。

(5) 今後の学長選考の流れについて

事務局から資料8に基づき説明があった後、原案のとおり確認された。

(6) 学長の業務執行状況の確認について

事務局から資料9-1～9-8に基づき説明があった後、泉議長から学長の業務執行状況の確認について諮られ、審議の結果学長の業務執行状況に問題はないことが確認され、学長へ通知することが了承された。

4 今後の学長選考会議の開催予定について

事務局から、資料10に基づき説明があり今後の流れについて確認された。

また、委員から新型コロナウイルスの感染拡大が厳しい状況であるので、2月及び3月に鹿児島で開催予定の学長選考会議の参加方法を弾力的に検討してほしいとの意見があった。